

COLORMAGIC大作戦

～色の力で街をきれいに～

1年1組 戸梶 叶 1年2組 福田 祥子 1年4組 浅井 暦
1年4組 清家 望 1年4組 武田 詩帆
指導者 田中 義則

1 課題設定の理由

色が人の行動に影響を与えることは多い。桑原舞ら(2014)は、色が人に与える影響について研究を行った。この研究では、カフェのロゴが消費者に与える影響について取り上げていた。街で見かけたポイ捨てを改善するために、色を使い日常生活の中でも活用できるのではないかと考えた。そこで、ゴミ箱の色を変えて、ゴミの収集量と色の関係についての研究を行うことにした。

2 仮説

私たちは、赤色などの目につく色のゴミ箱にたくさん入ると仮説を立てた。また、場合によっては、配置などの環境によって数値が変化すると考えた。

3 実験・研究の方法

- (1) 赤、青、黄、緑、白、黒のゴミ箱を用意し、体育館更衣室に3個ずつ設置する。毎日計量を行い、変化を見る。
- (2) 赤、青、緑、黒の4色に絞り、1回目と同様の実験を行う。

4 結果と考察

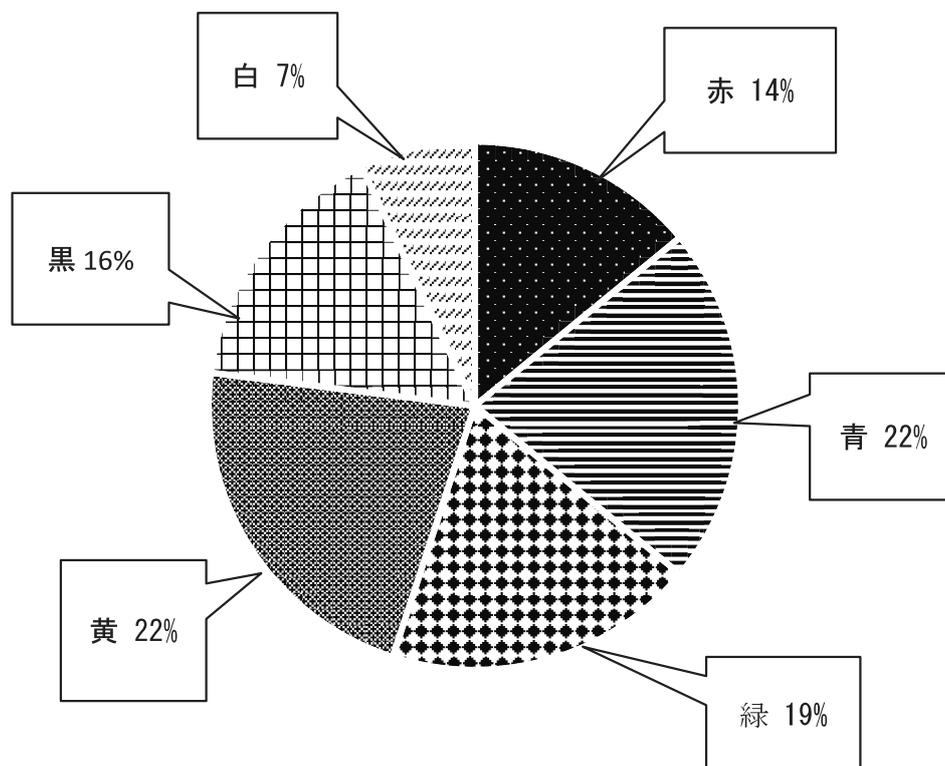


図1 色別のゴミの割合

9日間計量を行った結果、青色・黄色のゴミ箱に多くのゴミが入っていた。仮説では赤色のゴミ箱に多くゴミが入るとしていた。しかし、実際に入っていたゴミの量は少なかった。今回の結果から、人は、目立ちやすい色より、その場所に溶け込みやすい色にゴミを入れる傾向があるのではないかとさらに仮説を立てた。

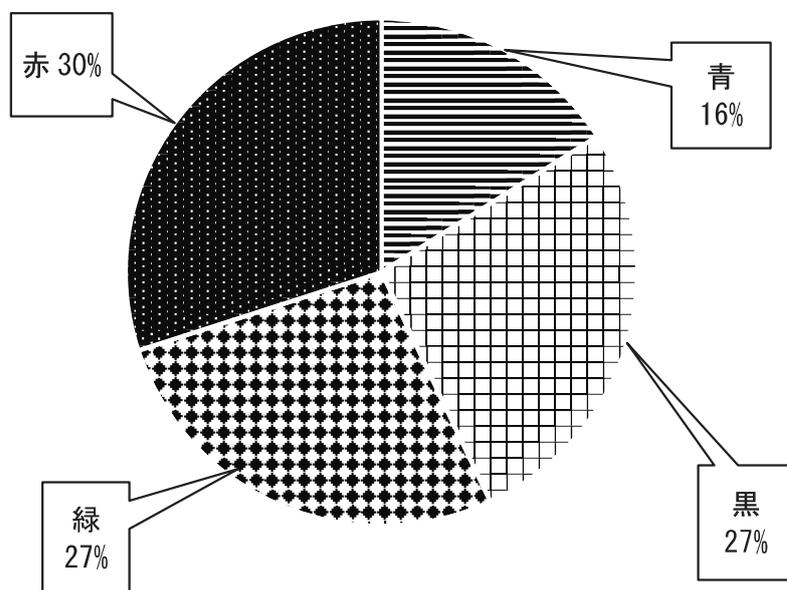


図2 色別のゴミの割合

2回目も同様に9日間の計量を行った。また今回は、街の景観に溶け込みやすい色と、反対に目立ちやすい色の3色に焦点を絞った。驚いたことに、1回目では一番ゴミの量が多かったはずの青色のゴミ箱が今回は一番少なかった。その他の赤、緑、黒の3色のゴミ箱は同じぐらいのゴミの量が入っていた。

5 まとめと考察

合計2回の計量を行ったが、1回目と2回目の結果では数値が大きく変化した。また2回目の計量では青色のゴミ箱を除く3色のゴミ箱に同じぐらいの量のゴミが入っていたことなどから、色は周囲の景観や設置場所によって効果が変わってくると判明した。そして、必ずしも目立つ色のゴミ箱に多くのゴミが入るわけではないと分かった。

今回は校内で計量を行ったため、街中に設置したときの変化を見ることができなかった。しかし2回行った計量を通して、実際に街中に設置したとき、色や景観など様々な要因を利用することでポイ捨てを減らすことができるという結論に至った。

参考文献

- ・ 桑原舞、松本詩織 「色が人に与える影響」 <https://otemae-hs.ed.jp/ssh/dat/2014S21.pdf>